



# 小笠原村立小笠原中学校 学校だより

令和4年11月1日 第7号

小笠原村立小笠原中学校

校長 椎橋 秀行

学校ホームページ

<https://www.ogachu.ogasawara.ed.jp>



学校フェイスブック

<https://www.facebook.com/ogasawara.jhs>



## 現在の教育活動、将来に向けた教育活動

校長 椎橋 秀行

10月2日(日)、小中高連合運動会が開催されました。今年もコロナ対策のためプログラムを半日とし、来場も制限がある中でしたが、無事に終わることができました。競技や表現において、児童・生徒のそれぞれの成長の違いが感じられる運動会でした。

以前、毎年8月末に放映される24時間テレビで、なぜ毎年マラソンが行われるのかという問いに、スタッフが「一生懸命目標に向かって走っている姿は絵(映像)になり、人を惹きつける」と答えていたことがありました。

これは児童・生徒も同様で、一生懸命競技や演技をしている姿は、やはり年齢を問わず「カッコいい」と感じました。ある生徒の感想には「リレーなど走るのには自信が全くありませんでしたが、練習したところを生かし自分の最大の力で走れたと思っています。でも来年はもっと上を目指して練習してがんばりたいです。」とありました。パネルや、友達を一生懸命応援し、みんなで喜んでいる姿も感動的でした。

また、運動会后、生徒全員との面接を行っています。昼休みの時間を使って一人ずつ話をしています。面接と言っても堅苦しいものではなく、「自分の未来予想図」などを雑談のように聞いています。校長室に入る時は、緊張気味ですが、話していくうちに穏やかになり、それぞれの思いなどを素直に教えてくれます。他愛のない雑談ですが、学校以外の話に広がることもあります。中には、オスプレイで緊急搬送されたなど驚かされることや、休日や校外での活動などから、生徒やこの島のことを知る貴重な時間であり、楽しませてもらっています。

「未来予想図」では、既に具体的に描けている生徒・描けていない生徒がいますが、島を出てからもいずれこの島に戻ってきて、働きたいという生徒がいるということに頼もしさを感じます。若い世代が戻ってきたいと感じる「ふるさと小笠原」の魅力だと感じています。この島の良さを具体的に聞くと、キーワードとなるのは、「自然」「やさしさ」「安心感」です。内地で学んだことや経験を生かして、前向きに小笠原の未来を担う人材に成長してほしいと感じています。

2年生は今月末から職場体験が始まります。12の事業所にご協力をいただき、1～3名の生徒がお世話になります。すべての仕事は、他の人のためになるもので、そこで働く方々の仕事に向かう姿勢などから、学ぶことは多いと思います。きっと今後役に立つ体験をするはずで、体験させていただく職場の方々への「感謝の気持ち」、そして色々なことを学び取ろうという「前向きな姿勢」で臨んでほしいと思います。

## 小中高連合運動会「結～燃え上がれ！ 迫力満点の島っこたち～」

保健体育科 柴山 暁人

10月2日(日)に第55回小中高連合運動会が開催されました。暑い中での開催となりましたが、競技はもちろん、係の役割を全うする姿や一生懸命に仲間を応援する姿など、中学生の活躍が随所に見られ、たくましさや頼もしさを感じる時間でした。

今年の運動会練習では、全体練習では3年生体育委員が、ダンス練習ではダンスリーダーが、全体指揮をとりながら練習を進めていきました。なかなかうまくいかない時もありましたが、各学年体育委員の声かけに気付けて整列を促す生徒や、練習場所に少しでも早く来る生徒が増えていったことで、授業開始前に全体練習を始めることができるようになりました。これは、生徒の皆さんの集団としての力が高まってきたからです。

ダンスリーダーも夏休みから選曲や振り付けを考え、どのように振り移しをすると苦手な人でも楽しく振りを覚えられるかを考えていました。また、どのような隊形移動をすればより見栄えがよくなるかを仲間同士で話し合っていました。そのようなダンスリーダーの影の努力が周りにも伝わり、音楽を流すと踊ってしまう身体へと自然となっていました。

運動会は学校の様子を現すとも言われます。運動が得意な人が苦手な人をサポートしているか、苦手な人でも一生懸命に競技に取り組んでいるか、といったことから現れてきます。また、小学校、中学校、高等学校の垣根を越えての交流もたくさんあったと思います。小学生のダンスと一緒に踊ったり、高校生の準備や片付けに大変助けられたりと、皆さんが取り組んだ競技や係の仕事、準備や片付けの様子を見てみると、「優しさ」をひしひしと感ずることができました。皆さんは、小学生の良きお手本として行動していたと思います。さらに高校生を越えるべき背中としてその目にしかと焼き付けてくれたと思います。お互いがそれぞれの場面で力を発揮し、それを認め合い、讃え合う環境は一回りも二回りも皆さんを成長させることに繋がると思います。

1年生は、中学校に入り初めての運動会でした。戸惑いながらも体育委員やダンスリーダーの指示のもと、練習にも一生懸命でした。よく頑張りました。

2年生は、中堅として1年生を引っ張り、3年生を支えてきました。それらの力が土台となり、来年は自分たちの色を発揮することです。期待しています。

3年生は、最後の運動会でした。頼もしさとパワーを感じました。そして優しさも。3年生の持てる力＝色が全面に出たのではと思いました。ありがとうございます。

最後になりますが、保護者の皆様には観客席からの温かい応援をはじめ、たくさんのご協力をいただきました。ありがとうございました。



## 小笠原の歴史学習「欧米系島民の方々との交流会」

第2学年主任 高田 奈々

10月5日(水)3・4校時にHOTEL PAT INNにて、欧米系島民の方々との交流会を開催しました。BITC(小笠原生協)の瀬堀ロッキさん、民宿がじゅまるの上部フローラさん、HOTEL PAT INNの瀬堀健さん、写真家の長沢慎一郎さんをお招きして、米軍統治下時代と返還後の小笠原村の人々の生活や文化について当時の写真を振り返りながら、お話をいただきました。

2年生の感想文には、昔と今の地形・施設・行事等の違いについて初めて知ったことや、島の歴史とそれを紡いできた人々に思いを馳せ、感じたことや考えたことが書かれています。特に「小笠原ことば」については、初めて聞いたという2年生も多く、日本語と英語が入り混じった会話を体験し、文献等で得た知識が「経験」に変わった驚きと喜びがあったようです。また「欧米系島民」という表現は、返還時に行政的な手続きで使用されるようになったようで、それまではお互いに「Bonin Islanders(島の人)」として認識していたようです。



5月の板長（田中善八）さんの講義と戦跡調査、6月の瀬堀翔さんによる開拓期についての講話、楠明博さんの硫黄島と遺骨収容について講話、そして硫黄島訪島事業を経て、今回の交流会では小笠原の歴史を再確認し、引き継いでいきたいという思いが強くなったようです。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。引き続き、11月の職場体験でもよろしくお願いたします。

## 令和4年度 第2回 進路説明会

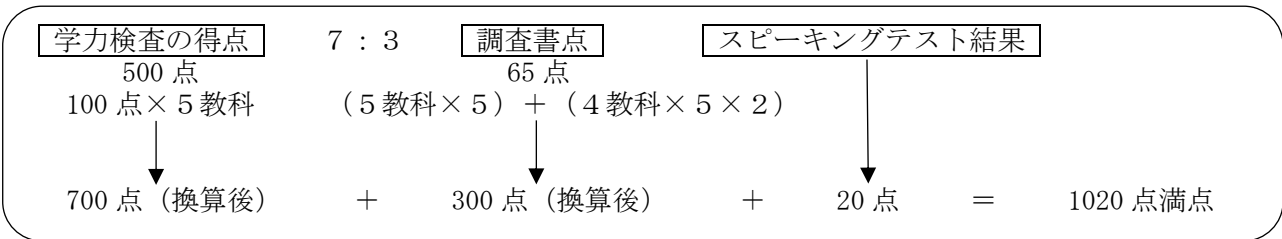
進路指導主任 宮本 寛信

10月21日（金）に進路説明会が行われました。今年都立高校の入試は、多くの変更点がありました。特に大きな変更点は、以下の2つになります。

- 志願者がインターネット上の出願サイトにおいて志願者情報等を入力します。（入学願書の作成、提出をWeb上で行います）
- 第一次募集・分割前期募集において、東京都中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）の結果を入学者選抜に活用します。スピーキングテストのAからFまでの6段階の評価を、次の表のとおり、20点満点に点数化します。

東京都中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）結果 （評価）	A	B	C	D	E	F
都立高等学校入学者選抜での活用 （点数化）	20点	16点	12点	8点	4点	0点

スピーキングテスト結果の点数は、学力検査の得点と調査書点の合計に加え、次のとおりに総合得点を算出します。



※ その他の詳細は、東京都教育委員会のホームページに掲載されています。右の二次元コードより、東京都教育委員会のホームページに移動できます。



### 父母生徒会交流

生徒会担当 矢代 祥大

9月27日（火）に小笠原中学校生徒会役員と母島中学校生徒会役員による父母生徒会交流を実施しました。オンライン会議システムを活用することにより、地理的・物理的な距離を越えて交流することができ、お互いの生徒会活動の紹介や学校の様子を共有しました。さらに今後も交流を深めていきます。



### おが中生の活躍

「第41回全国中学生人権作文コンテスト」

法務省と全国人権擁護委員連合会では、次代を担う中学生に、日常の家庭生活や学校生活等の中で得た体験に基づく作文を書くことを通して、人権尊重の大切さや基本的人権についての理解を深め、豊かな人権感覚を身に付けてもらうことを目的として、昭和56年度から「全国中学生人権作文コンテスト」を実施しています。小笠原村において、本校生徒が最優秀賞及び優秀賞に入賞しました。

小笠原村最優秀賞 第2学年 猪村 汎乃  
 小笠原村優秀賞 第1学年 菊池 純

（敬称略）

# ジュニア育成地域推進事業「中学バレーボール強化練習」

バレーボール部顧問 小林 政輝 高部 みなみ



10月20日(木)～10月23日(日)、バレーボール部の強化練習が行われ、全日本女子ユースチーム(U-18)の監督の三枝大地さんと元全日本女子バレーボール代表として活躍された横野有紀さんにご指導いただきました。

生徒たちは3日目までに、ボールコントロールの仕方、体の使い方、リズムトレーニング、アタック、サーブ、トス、レシーブ、ブロック、コート内での動き方を教わり、最終日には島内の方々にも協力していただきゲームを行いました。1つ1つの技術を丁寧に教わったことで、今まで自分に自信がなかったプレーも積極的に行うことができていました。バレーボールの技術だけでなく、「苦手をなくすために何度も繰り返すこと」、「準備を大切にすること」も学ぶことができていました。生徒たちが自ら学び挑戦していく姿が、たくさん見られた4日間でした。

また、今回の強化練習には母島中学校のバレーボール部の生徒も参加しました。母島中学校の生徒の練習に向かう積極的な姿勢や練習の雰囲気、小笠原中学校のバレーボール部も刺激を受けていたように思います。強化練習で互いに切磋琢磨した経験や深めた絆を次に繋げていってほしいです。

最後になりますが、今年度も無事に強化練習を行うことができたのも、講師や教育委員会の方々をはじめ、保護者の皆様や地域、卒業生の方々のご理解とご協力のおかげです。この場をお借りして、再度お礼申し上げます。本当にありがとうございました。今後も小笠原中学校バレーボール部の応援をよろしく願いいたします。



## 11月の行事予定

- 1日(火) 安全指導 自転車安全点検  
役員会・各種委員会・中央委員会
- 2日(水) 芝生の日 英検 IBA 校内研修
- 3日(木) 文化の日
- 4日(金) 食育講話 避難訓練
- 5日(土) 東京都教育の日
- 6日(日) 英語検定(二次)
- 7日(月) 生徒会朝礼
- 8日(火) 島しょ地域研修支援事業 午前授業
- 9日(水) 子供を笑顔にするプロジェクト  
職員会議 部活動中止(17日まで)
- 10日(木) SC勤務
- 11日(金) 三者面談(3年)終
- 14日(月) 学校朝礼 SC勤務
- 16日(水) 期末考査(1日目)
- 17日(木) 期末考査(2日目) 補食

- 21日(月) 学校朝礼 SC勤務
- 22日(火) お弁当の日
- 23日(水) 勤労感謝の日
- 24日(木) いじめ対策学校サポートチーム協議会  
SC勤務
- 25日(金) 役員会・各種委員会・中央委員会
- 27日(日) 中学校英語スピーキングテスト  
(ESAT-J)
- 28日(月) 職場体験(2年)始  
赤い羽根共同募金始
- 29日(火) 地域学校保健委員会講演会「ゲーム・ネット依存について」(午後4時～)
- 30日(水) 職場体験(2年)終

※ 8日(火)は島しょ地域研修支援事業(校内研修)のため、生徒は午前授業(昼食なし)で下校となります。